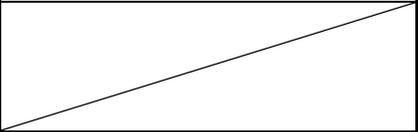


第11回江東区都市計画マスタープラン2022推進会議【会議録】

開催日時	令和6年10月31日(木) 午前10時00分		
開催場所	江東区文化センター3階第4研修室		
出席者 (敬称略・順不同)	【委員】 <委員長> 志村 秀明 <委員> 村木 美貴、江守 央、森本 章倫、柳井 重人 【区職員】 都市整備部長、地下鉄8号線事業推進室長、都市計画課長、まちづくり推進課長、沿線まちづくり担当課長		
【議題】		【所管】	
(仮称)枝川駅周辺地区まちづくり方針(素案)について		沿線まちづくり担当	
【議事概要】			
No	該当資料	委員の意見要旨	区の回答要旨
1	資料1-2	新駅設置に伴うまちづくりとして、東京メトロとどのように連携しているのか教えていただきたい。	年1～2回の定例会のほか、2～3か月に1回、意見交換会を実施しており、まちづくりの進捗について情報共有をしている。
2	資料1-2	駅・道路・施設を結ぶ生活関連経路は、ワンルートだけでなく、回遊性に配慮してバリアフリー化することを検討いただきたい。	今後、区内全域を対象とした江東区バリアフリー基本構想を改定する予定であり、その中で回遊性を含めた面的なバリアフリー化について検討する予定である。(仮称)枝川駅周辺は、福祉施設が多い地域でもあるため、新駅開業に向けて可能な限り必要なハード整備の検討を進めていきたいと考えている。 来年度から江東区バリアフリー基本構想の改定や地域公共交通計画の策定を予定しており、地下鉄8号線延伸を契機として、各施策を展開していく考えである。
3	資料1-2	バリアフリーの推進にあたっては当事者の意見を伺いながら進めていただきたい。	/

4	-	<p>東京メトロが先日上場したが、江東区との関係性が変わってきそうな兆しはあるか。</p>	<p>上場に伴う両者の関係に変化はない。一方で、東京メトロが現在実施している工事説明会が終わり工事着手となると、地域の意識も変わるため、駅周辺のまちづくりにおいて、より具体的な検討ができるのではないかと想定している。</p> <p>東京メトロもまちづくりに興味を持っており、駅構内だけでなく、駅周辺のまちについても意識を高めている。東京メトロと連携し、駅とまちが一体となったまちづくりを進めていきたい。</p>
5	資料1-2	<p>実現化手法(P18からP20)は、主体が誰なのかが読み取りづらいため、明確に記載することを検討いただきたい。</p>	
6	資料1-2	<p>歩行者ネットワークの形成をどのように図っていくか、潮風の散歩道や地区内道路の整備について考えを教えてください。</p>	<p>散歩道については、未整備区間の整備を進め、回遊性向上を目指していく。歩道のある道路については、ウォークブルな空間確保など、歩行者目線に切り替えた道路のあり方を検討することも選択肢のひとつとして考えている。また、歩道のない道路は、新駅に向かう人の流れを想定し、安全性確保の観点で歩道の必要性・実現性を検討していく。</p>
7	資料1-2	<p>複数の橋台敷に児童遊園が整備されており、景観上も重要な施設である。一方、規模が小さいため、統合や拡大の余地があるか教えてください。拡大していく努力をする必要があると考える。</p>	<p>枝川にある児童遊園は、橋台敷を活用している。そのため、橋梁架替え時の作業用地としての役割も備えていることから、統合・拡大は難しく、質の向上を検討していく。</p>
8	資料1-2	<p>公開空地の確保は、民地も含めて進めていくものと認識しており、官地と民地の一体性や連続性が必要である。どのように捉えているか教えてください。</p>	<p>開発や江東区マンション等の建設に関する条例に基づき公開空地の整備など、様々な手法を用いて、一体性や連続性のある公開空地の整備を誘導していく。</p>

9	資料1-2	関連制度の解説(P21)に駅まち空間に関する記載があるが、駅まちデザインに関する解説の追加を検討いただきたい。	
10	—	駅とまちの接続は、地上駅よりも地下駅の方が成功事例が多く、そのような連携が東京メトロとできるとよい。商業との連携も重要である。	
【議題】			【所管】
その他			まちづくり推進課 沿線まちづくり担当
No	該当資料	委員の意見要旨	区の回答要旨
1	—	<p>緑地に関する認証制度が幾つかあり、まず、ランドスケープに関しては、「SEGES」という評価システムがある。審査基準、評価基準を見ていただくと、これからのまちづくりにおいて考えていかなければいけない基本的な項目が網羅されているので、参考にしていきたい。</p> <p>また、都市緑地法が5月に改正されて、「TSUNAG」という認証制度が始まる。これは国土交通大臣が直接お墨付きを与えるもので、相当ハードルが高いものと思われる。いずれにしても、今後はそれらの認証制度で掲げられた評価基準がスタンダードになってくるため、一度ご確認いただけたらと思う。</p>	